

第2510地区 第11グループ



2009~2010

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

2009~10年度  
国際ロータリーのテーマ

ロータリーの未来は  
あなたの手の中に



2009~10年度  
国際ロータリー会長

ジョン・ケニー

弗田和則 会長 テーマ

—— ロータリーの和を大切に ——



11月25日 「クリスマスファンタジーについて」 函館青年会議所 藤澤 義博 氏

《第2224回例会》 第21号 12月2日(水)

本日のプログラム

「クラブ年次総会」

★会長 弗田和則

★幹事 藤田正男

例会場：函館国際ホテル  
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30

〒040-0064 函館市大手町5-10  
事務局：函館市大手町5-10 二子ビル4F

TEL23-5151  
TEL23-3870

やさしい気持ちは森から育ちます。

子供たちの未来のために森を守りましょう。



函館北ロータリークラブ

環境保全と土に生きる会

森 秀樹

(広告掲載：森 秀樹 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

【12月1日現在のアクセス数：9124件(+32件)】

◎11月11日出席報告 (深瀬晃一 委員長)

会 員	28名	出席率対象会員	28名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	0名
当日出席	17名	当日欠席	11名
他クラブ出席	7名	出席合計	24名
出席率		85.71%	

・テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番

次回・12月9日  
プログラム

卓 話

北海道教育大学函館校 地域創生専攻 地域福祉分野 藤井 廣美 氏

11月25日の記録

◎司 会 弗田 和則 会長

◎齊 唱 我等の生業、四つのテスト

◎ゲ ス ト (社)函館青年会議所 理 事 長 藤澤 義博 氏

次年度理事長 澤田 龍 氏

中野 拓 氏

◎ビジター 函館R.C.地主 昇君

函館五稜郭R.C.福岡 一成君、大日向 豊吉君、薮下 明君、土家 康宏君

◎会長報告 弗田 和則 会長

○10月20日(金)函館五稜郭R.C.同好会の合唱団「ダム」のチャリティコンサートに出席してきました。

◎幹事報告 藤田 正男 幹事

○本日、斎藤会員の協力によりクラブ恒例の健康診断が実施されました。



◎親睦活動委員会 渡部 二康 委員長

ニコニコBOX投入報告

弗田会長……J.C.の皆様を歓迎して。

斎藤会員……健康診断よろしくお願ひします。

山下(清)会員・石橋会員……健康診断受けました。

中野会員……息子がお世話になります。

柴崎会員・森 会員・小笠原会員・中川会員……ニコニコボックスに協力。

◎卓話「クリスマスファンタジーについて」(社)函館青年会議所 理事長 藤澤 義博 氏

日頃は、我々の活動に対し、多大なるご支援、ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

「はこだてクリスマスファンタジー」は、1998年に第1回が開催され、今年で12回目を迎えます。「はこだてクリスマスファンタジー」の事業目的は次の通りです。1.冬期観光の促進、2.市民・行政による一体化事業の推進、3.姉妹都市カナダ・ハリファックス市との友好促進、の3つであります。

函館市は、本年、開港150周年を迎えております。この開港により、函館には、いち早く西洋の文化や文明が伝わり、現在の異国情緒溢れる街並みが形成されることになりました。以来、三方、海に囲まれている函館は、その豊富な水産資源と港を核に漁業を中心とした水産業の街として発展してきました。と同時に、歴史や文化、雄大な自然や資源を活かした観光産業が街の基幹産業として発展してきました。しかしながら、観光産業に至っては、年々、観光客は減少傾向にあります。最盛期、年間540万人の観光客が訪れていましたが、昨年では、470万人まで落ち込んでいます。特に、夏場と比較すると冬場の観光客の落ち込みは歯止めが効かない状況でありました。要因としては、いくつかあげられます。札幌雪まつりに代表されるように、函館には全道と比較しても真新しいイベントがあり

ませんでした。また、各地と比較しても雪が少なく、スキー場もないことや温泉街の活性化が遅れをとったことなどがあげられます。それに比べ、春から夏にかけては、気候も過ごしやすく、桜やツツジといった花や代表的な夜景を中心とした景観が美しく、また、歴史や文化と触れることができ、更には、観光客が最も期待する「食」への満足度が高いなど、そのポテンシャルは北海道の中でも最も優れた観光地であります。現在では、日本一、魅力ある街として、函館が選ばれております。

社団法人函館青年会議所が、「はこだてクリスマスファンタジー」に取り組むきっかけとなったのは、1992(平成4)年の「第41回日本青年会議所全国会員大会」にあったと思います。この時、全国から1万5000人ものメンバーが集まりました。この大会の経済効果算出のために行った参加者アンケートでは、一人当たりの平均消費額が10万円とされ、しかも90%が「観光資源が豊富で、大変、素晴らしい。また来たい」と答えております。この4日間の大会による直接効果は約15億円、間接効果は約42億円に達したと発表されました。この為、函館青年会議所のメンバーは観光振興の重要性に大きな可能性があることを実感したと言われております。

ところが、先にも述べたように、青年会議所のメンバーは、冬期観光があまりにも厳しい現実におかれていることを問題とし、その解決策を検討していたところ、たまたま一人のメンバーが映画で観たニューヨークのロックフェラーセンターのクリスマスツリーに魅せられました。こうして、異国情緒溢れる函館の地が日本でもっともクリスマスが似合う街と考え、世界一のクリスマスツリーを立てることを思いついたのであります。それも、日本には、ほとんど生息しない本物のモミの木を持ち込むことを計画しました。

こうして始まった「はこだてクリスマスファンタジー」は、1日平均約1万人の来場者を数えるようにまでなり、函館の冬期観光にはかせないイベントへと成長してきました。また、このイベントに必要な資金は、立ち上げ当時、メッセージプレートの販売が主な収入源でありました。しかし、近年、全国各地にて行われるクリスマスイベントの開催により他地域との競争の激化や「はこだてクリスマスファンタジー」のイベントのマンネリ化、更には、販売グッズ類などの収入源の落ち込みなどにより、ここにきて新たな問題に直面しています。このような状況から、スタート当時のような勢いに陰りがみられ、伸び悩み傾向がみられています。

観光産業全体を見た場合、今、函館市はチャンスを迎えようとしています。いよいよ、来年の2010(平成22)年12月、東北新幹線が新青森駅まで開業されます。更に、2015(平成27)年には、道民が待ち望んでいた北海道新幹線が「新函館駅」(仮称)まで延伸され、開業する運びとなります。これはまさに、函館、道南を中心として交流人口が増加され、新たな景気回復の重要な鍵になると考えられます。これにより本州から函館までの時間距離、心理距離はますます短くなります。この何十年かに一度の大チャンスを、どこまで活かすことができるかが大事だと考えます。このようなことから、現在、函館市では、今後、函館市のみならず、近隣市町と連携した広域連携の観光施策が重要であり、様々な取り組みを始めております。



卓話のあとグッズ販売がありました。

(会報担当者：阿部 誠太 委員)